

一般財団法人川崎新都心街づくり財団平成 28 年度事業報告

期間：平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日

I. 総合報告

全体としては、全事業の計画を概ね達成したと思われる。当年は特に、人々が一年を通して交流し、街づくりの活動を行うことが出来る場の実現をめざして活動した。その結果、街の中に期待感が芽吹いたように思われる。今後、この期待感を地域住民と共有して街づくりの力になるように進めたい。

中心街地を活性化する地域運営計画にあっては、一つの行事をきっかけに多くの企業、団体、行政、地域住民の方々が労を惜しまずに一体となって目的達成をなし得た。今後は、更に改善等を加えて体系の見える活動へ進めていきたい。

II. 事業内容

1 市民交流事業

1) 街づくりに関する資料の収集・提供・援助

新百合ヶ丘周辺の写真のまとめ

昨年度に、当財団の保有する新百合ヶ丘周辺の航空写真や協力会社が保有するデジタル航空写真をホームページで閲覧できる仕組みを構築した。市民が気軽に新百合ヶ丘駅周辺の移り変わりを見られることになった。昭和 40 年から平成 14 年（37 年間）。

2) 街づくりに必要な環境整備に関する活動

a) 市民団体への協力

会議室の貸出し：25 回

b) ホームページの活用 (<http://www.kncf.net/>)

UP回数：6 回

c) 麻生アシストクラブ

アシストクラブ主催の下記行事にスタッフとして参加した。

フロンターレ戦応援（等々力 8/27）、青玄まつり 11/13、監督選手激励会 2/15、役員会 10 回。

3) しんゆりポータルサイトの研究

地域情報の収集について考慮する点が多いので、今年度はシステム作りを行わず、次年度に引き続き研究する。

4) しんゆり美化運動の展開

季節を通して街を花々で飾るためにミツバチを利用した運動の可能性を検討。

状況：区内で養蜂活動を行っている養蜂家が見つかった。駅近辺での飼育には市民の理解（排出物、音など）が必要であることが分かった。また、協力いただいた大学関連のミツバチ科学研究センターからは「知る」ことが重要であるとの助言を受けた。この機会を設けることが活動の第一歩となる。

2 調査研究事業

1) 地域の歴史と文化に関する資料の収集および編纂

麻生区の発掘調査

- (1) 「小田急線沿線の1世紀」世界文化社 監修 生方良雄 構成 鎌田達也
小田急線の前身計画である東京地下鉄計画から今日まで約100年間をまとめたもので、駅周辺の産業や生活が書かれ、歴史を研究する上では貴重な書籍と思える。発行2009年7月。
- (2) 「小田急電鉄街と駅の1世紀」アルファベータブックス 生田誠
懐かしい沿線写真で昭和の町角を紹介した書籍。発行2016年7月
- (3) 「郷土愛という夢」神奈川新聞社 中山茂 発行2017年3月31日
昭和21年から感動が忘れない新聞記事を平成28年まで70年間集めた私的新聞博物館。

2) 中心街地を活性化する地域運営のあり方

a) 新百合ヶ丘地域活性化TM計画研究

目的：新百合ヶ丘地域の街づくりを、地域資源である大学生の企画や運営協力によってタウンマネジメント(TM)を地域に根付いたものにするを目指す。

- ・9/10 大学生交流会（麻生区役所）11/26 反省会（田園調布学園大学）
下記催物を実施するにあたり、参加大学の内容を知り意見交換・交流の場を設け、一致協力して目的達成のための意思疎通化を図った。

参加大学：12校

反省会は、写真スライドを利用して次回の課題や要望等の意見交換を行った。参加大学：5校

b) 「しんゆりマルシェ2016」の開催（平成28年10月22日）

多年齢層の方が集い、交わり、一日を楽しく過ごせる場所を提供すること、即ち作り手と来場者が直にふれ合い交流を深め、通年街に愛着をもたらすきっかけを作り、文化（芸術の街）香る街を目指した。

(1) 事前活動（支援）

- ・警察、消防、保健所との調整業務
- ・出展者調整業務
- ・会場準備業務

来場者34,000名（昨年と同じ）。

(2) アフターイベント（支援）

「しんゆりハロウィンの謎を解け、しんゆりハロウィンパレード
企画会議に協力及び当日参加

(3) 新ゆり街歩きツアー（支援）

当地域周辺には他地域と比較して美味しい個店が数多くあるが、知られていないことが多い。新百合ヶ丘周辺の持続ある賑わい・イメージアップを図る目的で、商店会と協力して街を紹介する（公募集の見学者）。

- ・日本映画大学撮影スタジオの仕組み見学と商店会飲食店
- ・昭和音楽大学オペラ劇場のバックヤードと商店会飲食店

c) 交流の場「しんゆり大学」の検討及び実践

年を通して街に賑わいと期待感がある街づくりを推進するにあたり、下記の活動を試みる。

- (1) 街かど活動：「しんゆりライブラリー」会場:OPA 前 演奏:バグパイプ
 - ・平成 28 年 5 月 21 日 卵に絵やリボン等で装飾し、自分だけのイースターエッグを作った。指導：田園調布学園大学浦尾研究室
 - ・平成 28 年 5 月 28 日透明傘に思い思いの絵を描いてオリジナルと使用を楽しむ。指導：東京都市大学山藤研究室
 - ・平成 29 年 1 月 21 日子供と学生が共同で模擬店を設置し、エルミロードレシートを利用して社会の仕組みの一部を体験しました。指導：田園調布学園大学番匠研究室
- (2) 街なか活動：「しんゆり大学サロン」在住・在籍する大学の専門家を招聘して「都市と文化」をテーマに語り合う場を提供する。
 - ・「バルセロナの都市と美術」昭和女子大学大学院教授 木下 亮 6/4 ガウディの作品制作背景、同時代の建築家ムンタネー、カダファルク、vs マドリードのライバル意識などについて説明した。
 - ・「パリの街づくりと印象派絵画」東京都市大学名誉教授 平本一雄 9/25 ナポレオンの発想によって生み出されたパリの街が 9 度の万国博覧会によって都市変容し、その時代に生まれた印象派画家が世界に変革をもたらすことになる都市と絵画の関連性について説明した。
- (3) 街そと活動：「しんゆり街づくり学修」新百合ヶ丘の街づくりを学生と協働するにあたり、事前知識を授けるために以下の活動を行った。
 - ・和光大学への出張授業：タウンマネジメント
全学部対象基礎科目、全学年対象 30 名 大学単位付与授業
学生を対象にして市民、行政、団体と交流しながら街づくりに必要な知識と野外での実践力を養う。
 - ・和光大学への出張授業：キャリア研究（街づくりプロポーザル）
経済経営学部 2 年生対象、必須受講 300 人 6 週分授業で財団が行うマルシェ、ライブラリー等についての方策と立案・発表を学ぶ。

3 イベント事業(文化活動)

- 1) KAWASAKI しんゆり映画祭実行委員会への支援
 - ・開催期間 平成 28 年 11 月 5 日～11 月 13 日
 - ・財団提供映画
「走れ、絶望に追いつかれない速さで」 監督 中川龍太郎
映画監督は、実家が新百合ヶ丘徒歩圏内にあり、昔からしんゆり映画祭に毎年通っていた。まさに、しんゆりから生まれ育った今芽吹かんとする若手監督の最新作。史上初となる東京映画祭 2 年連続入選を最年少にして果たした作品。
- 2) 主催事業
シニア向けワークショップ「役を演じて非日常体験シリーズ^⑫」
人前でせりふを言うことを出発として臆する気持ちを開放し、生きがいのある生活を楽しむことを目的とする。今回はコミュニケーション力を伸ばす演劇講座。1 回目は「声・しゃべり方」、2 回目は「しぐさ」、3 回目は「やりとり」。受講生は、これから発表を行う事前トレーニングの

方や大学授業で講義に役立てる方など様々な方が講師の説明を受けて励んでいた。参加者 31 名 開催日：平成 29 年 3 月 29,30,31 日

3) 共催・後援活動

新百合ヶ丘イルミネーション (Kirara@アートしんゆり 2016) への協力

- ・期間 平成 28 年 11 月 12 日 (土) ~平成 29 年 2 月 14 日 (火)
- ・イベント 点灯、クリスマス、消灯イベントを行う。
- ・協賛協力金 781 万円 (91 社・団・個)、
- ・財団は共催事業として点灯式イベントの提供を行った。

Ⅲ. 協議会、委員会などへの協力

1) 川崎新都心街づくり推進協議会

- ・川崎市より開催要請なし。

2) 特定景観地区及び景観形成協議会 (まちづくり局景観・まちづくり支援課) 4 回開催

- ・新百合ヶ丘 C・D 区域の状況 (のぼり旗、窓辺広告等) を調査した。
- ・景観基準を認識していない様子。周知活動が必要との方向で会の方針が決まる。
- ・次年度に周知を図った上で、基準の検討図る予定。

3) しんゆり芸術祭 (アルテリッカ) への参加

平成 28 年 4 月下旬~5 月上旬に開催されたアルテリッカしんゆり 2016 に実行委員会 (4 回) および当日運営委員として参加。

4) 川崎市アートセンターに関する協力

運営協議会委員として参加 1 回

5) 麻生区暴力団等排除活動推進協議会 1 回 (麻生警察)

暴力団の活動状況および遭遇した場合の対応策等についての講演に参加

6) 麻生防犯協会 1 回

総会および研修視察に参加

7) 麻生観光協会 (1 回/月)

理事として当協会の企画・運営に参加。

主業務として麻生観光写真展及び麻生川桜祭りの美化清掃に協力する。

8) 麻生らくがき消し隊への参画

- ・消去実績：新百合ヶ丘駅及び百合ヶ丘周辺 2 回、打合せ 4 回
- ・根気よい活動の結果、落書きの箇所および規模が減少した。

Ⅳ. 賛助会費活動

- ・会費納入金額：4,847 円
- ・新百合ヶ丘イルミネーション等に当該費用を使用した。

Ⅴ. 財団の事務報告・方針

理事会 4 回、評議員会 1 回開催した。

以上